

研修のねらい

- デザイン思考を用いて、本質的な問題を見付ける手法を学びます。
- 課題解決のプロセスを数回に分けて実践的に学びます。
- ユーザー(住民)サービスの向上又は自分の手の届く範囲の業務のデジタル化・効率化に向けて企画案を作成します。

自治体DXの推進により、住民一人ひとりのニーズに合った行政サービスを提供することで、多様なライフスタイルに寄り添える地域社会の実現に向けてさまざまな取組が加速化しています。一方で、それを推進していくためには、今まで以上にICTに精通した人材の確保と育成が急務です。

この研修では、先進自治体の取組事例から、自治体DXを進めていく上で必要となる考え方や実践のヒントを修得していただきます。いま急務とされる、自治体DX推進を担う人材育成に貢献します。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

	1 日目	2 日目
午前	◎ オリエンテーション 1. 自治体におけるデジタル化の背景とその効果 (1) 地方自治体におけるデジタル化に注目が集まる背景および意義について 2. 自治体DXとは何か? (1) DXに対するイメージ ◇ グループワーク ◇ (2) 自治体DXの定義 (3) 自地域や部門におけるDXの現状と課題 ◇ グループワーク ◇ 3. 先進事例の紹介 (1) 他自治体の事例 (2) 事例の振り返り	◎ オリエンテーション (1) 前日の振り返り (2) 作成したロジックツリーの発表 7. 自地域・自部門における解決策(アイデアの発想)の考案 (1) STEP3:創造(アイデア発想) ◇ ベアワーク ◇ 「課題から解決策へ」 (ブレインストーミングによるアイデア出しワーク) (2) 発想したアイデアの発表 8. デジタルを活用した様々なソリューション事例の紹介 (1) DXを活用した全国のソリューション事例紹介 (2) 自地域・自部門が参考にできそうな事例の検討 ◇ ベアワーク ◇
午後	4. デザイン思考とは (1) デザイン思考について — デザイン思考の定義と意義 — (2) デザイン思考の実践 — 5つのステップ(共感・定義・創造・試作・テスト) — ※ 研修では、共感・定義・創造までを実施 5. 演習①(STEP1) 「自地域・自部門における課題とその真因を探る」 (1) STEP1:共感(ターゲットの確定) ◇ ベアワーク「ペルソナの設定」◇ (2) 設定したペルソナの発表 6. 課題の設定(STEP2) (1) STEP2:定義(課題の設定) — 問題と原因分析<解説> — (ロジックツリーの活用による問題発見) (2) STEP2:自地域・自部門が抱える課題と原因の分析 ～ロジックツリーの作成～ ◎ まとめ 1日目の振り返り	9. 企画書の作成 (1) 企画書作成のポイント(解説) (2) 企画書の作成 ※各自PCを持ち込んで企画書の作成を行う 10. 発表会(プレゼン&講評) (1) プレゼン・質疑応答 ※プレゼンの一人あたりの時間は参加者によって調整 (2) 講評 ※受講者による相互評価も実施します。 ◎ 全体まとめ (1) 2日目の振り返り (2) 2日間を通した気づきの共有 — 職場での実践に向けて — (3) 講師からの総評

講座料 1日研修 160,000～200,000円(税別) 2日研修320,000～400,000円(税別)

時間 9:00～17:00【12:00～13:00を除く】 ※ ご相談に応じます。

資料 テキスト使用1,500～2,000円/冊(税別)